（十四日夕刊）

休刊　大祭日　第一　第三日曜

定價　一部二錢　一ケ月六十錢　郵税十五錢

廣告料　壹行六十錢　指定廿錢　增

福島縣平町田町十六番地
發行所　磐城新聞社
電話五六四番

發行人兼編輯人　鹽沼鐵郎

平舘の一月と二月（中）

——シネマニアのメモ——

島田良彦

〔明眸禍〕

菊池寛原作といふ字幕が出ると、凡そ私は憂鬱になつて了ふのである。而も監督が池田義信であつて見ると少し許り空恐ろしくなつてくる、こゝに描かれてゐるのは相も變らぬブルジョア社會の戀愛遊戯である。不思議な事にはこのシャンには貧乏人が一人も出て來ない。「こんな社會がかつからねわ」と、暗い隅っ子の椅子に腰かけて私は空想を逞しうしたことであつた。

そして、この恐ろしく長い十二卷から僅かに拾ひ得た收穫は、開卷當初のダルタ・ガルボ主演「アンナ・カレニナ」のストールン・コッピイと、一九三〇年度ベビイスタア黒崎弘子の發見であつた。

〔赤穂浪士〕

之は志波西果の失敗の作であつた。流行作家の文藝作品映畫化に於ける絶大なる興業價値」この動機に發した「明眸禍」が偖りにも原作に忠實で有り過ぎたが故に成功し、同じ動機に出發した「赤穂浪士」は原作に忠實たらんとして却つて失敗し、藝術的價値も興業的價値をもしんびんに失墜せしめて了つた志波西果を甚だも毒に思ふ。この映畫は赤佛次郎の原作をよんでゐる人には失望をあたへたに違ひない。

〔愛〕

よんでゐない人には凡そ不可解であつたに違ひない。要するに赤佛次郎の「赤穂浪士」は映畫化すべく餘りにも映畫的なるが故に小說であつたのだ。

〔愛して頂戴〕

甚だ多愛のないものだが兎に角考へさせられないだけでも嬉しい、監督も原作の狙ひ所をよく心得て氣持のいゝフアースである（尤も、甚々過ぎ）ラストなど仲々氣が利いてゐる久しぶりでアゴをゆるめて笑つた。

〔山の凱歌〕

たゞへこの作品が農林省の半御用映畫であつたにもせよ、こゝに現はれた牛原虛彦と鈴木傳明の拙劣な手法と演技とこの二人に對する世上——殊に批評家諸君——の不可解な期待や賞讃に對して深く考へたいと思ふ。

〔魔天樓闘爭篇〕

〔劍闘が有フヴイヴイドネスを現代劇に〕村田實の闘爭篇に於ける意圖は之である。この意圖は本篇で充分に果されたと云つてよからう、が皮肉なことには村田より特に力を注いだ活劇の部分よりも、却つて他の方面に村田の眞の姿を見る。全體的に見る時には、この寫眞は前作「灰燼」に劣ること數等である、けれ共、私はこゝに村田實のイデオロギイの有無をセンサクしやうとは思はない、これを要するに、ストオリーの弱さが致命的な失敗の素因であつたと思ふ。だから私は喜んで第二篇愛慾篇を待つのである。

〔明日の凶〕

明日……赤……二月……三日
……新月……十六……十五……日

一白　一旦下りたる運氣も別立を受け向上すべし。
二黑　意外の恩惠に浴せらるゝ吉日たり進んで吉し。
三碧　行く先きに迷ひの雲掛かりて惑れやらぬ日。
四綠　所日の除方も今日は吉となり易く凶日たり。
五黃　心を揃へて根氣よく働けば大吉日と成るべし。
六白　樂々と伸び行く日たり。
七赤　武邊の勢ひ尚こゝに及んで、暴壓の限りをつくすべき性質のものではなかつたのである。
八白　一見申さぬ、幸ひに篤學の鄕も、諸鄕、何卒廣の徹意を汲んで下されい。
九紫　鄕は、そこ迄云つて一座を見渡しました。誰も彼もの顏には、悲痛

高辻鄕は、學問のお家菅原六家の一人です、そのお方の言葉ですから、人には唯々言葉の辱げなさに、涙ぐまるゝ思ひでした。

「唯今、竹山の言葉にもありつたよう、現今皇道のお説教へは、編へに武門の專政によんどころ、室學の抑壓せられてゐる故、ござる。武門政治の弊。かく迄甚だしきまことに慨嘆の至り。

「かへり見れば、遠く聖武帝の昔學問の道ゝゝせられて、今に、幾とせ、その道は衰へ今日より甚だしきは、福長の代までには何として、この事の成就をみたいものと存するのぢや。喃、鄕、何卒廣の徹意を汲んで下されい」

鄕は、そこ迄云つて一座を見渡しました。

誰も彼もの顏には、悲痛なまでに固い誓ひの色が見えてありました。

「御師……」

其の時から第一に口をきつたのは、混北社同人の頼春國の爲を思ひくれやるか」

鄕は、早、眼に涙さへ浮べて、感激の言葉を洩らしました。

「それを知つた廣の喜びは如何ばかり、鄕等、察してくれやれ」

この時のこの宣誓は、やがて彦九郎一生の誓ひとなり、事業となつたのでした……。

「おゝ、それ程までに、御國の爲を思ひくれやるか」

「長こき御心の程見奉候、不肖等唯々感激の他はムりました。

「おゝ、それ程までに、御國の爲を思ひくれやるか」

「願はくば、鄕等、こゝに立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや、即ち、皇道の興隆ぢや。」

國を思ひ、君を思ふ人の

大納言の言葉は、論旨進むと共に熱し、口角火と燃ゆるかとばかり、居並ぶ人々の肺腑に、犇々とせまつて行くのでした。

「願はくば、鄕等、こゝに立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。學問さかへ、正しき道立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。即ち、皇道の興隆ぢや。」

國を思ひ、君を思ふ人の學問の道ゝゝせられて、今に、幾とせ、その道は衰へ今日より甚だしきは、福長の代までには何として、この事の成就をみたいものと存するのぢや。喃、鄕、何卒廣の徹意を汲んで下されい」

鄕は、そこ迄云つて一座を見渡しました。

誰も彼もの顏には、悲痛なまでに固い誓ひの色が見えてありました。

「御師……」

其の時から第一に口をきつたのは、混北社同人の頼春國の爲を思ひくれやるか」

鄕は、早、眼に涙さへ浮べて、感激の言葉を洩らしました。

「それを知つた廣の喜びは如何ばかり、鄕等、察してくれやれ」

この時のこの宣誓は、やがて彦九郎一生の誓ひとなり、事業となつたのでした……。

其の言葉について、一同は、同じ心を表明し、誓ひをたてゝ平伏いたしました……。

幕末奇傑高山彦九郎

（87）

西洋々作
布施長春畫

鄕家の辨（三）

「日頃、皇道興隆のため身命を惜しまず努力下さる諸賢の御必勞唯々感激の外はムらぬ、僭越ながら、高藤を救ふ急務ぢや、武門の專横に對する唯一の武器ぢや」

「武門の跋扈は直ちに、學問の衰へぢや、否學問の專斷ぢへは、直ちに武門の專斷ぢや。學問さかへ、正しき道立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。即ち、皇道の興隆ぢや。」

「願はくば、鄕等、こゝに立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。學問さかへ、正しき道立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。即ち、皇道の興隆ぢや。」

大納言の言葉は、論旨進むと共に熱し、口角火と燃ゆるかとばかり、居並ぶ人々の肺腑に、犇々とせまつて行くのでした。

「願はくば、鄕等、こゝに立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。學問さかへ、正しき道立たば、自ら、武門は衰へ皇道は榮ゆる、學問の興隆ぢや。即ち、皇道の興隆ぢや。」

國を思ひ、君を思ふ人の

開業廣告

今般左記ノ通リ開業致候間此段及謹告候

昭和五年三月一日　敬具

宅診 往診　時間午前七時より午後十時迄

專門　內科一般

但し急患はこの限りにあらず

平町南町六五（元大和田耳鼻科跡）

川井內科診療所

醫學士　川井重之
女醫　川井安子

電話七二二番

浪界の一人者
木村重友師一行
近日來る
吉川小虎丸特別出演
平町重友後協會

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

時計
貴金屬
眼鏡類
良品廉價…修理大々勉强…確實迅速に
時は金なり…示時正確に…金時堂へ
金時堂
高橋時計店
平町七橋通り

無料檢眼　TOKIWAYA
眼鏡　遠見視力檢査表を無代で進呈
無料檢眼　マシタ開始致シ
專門眼科醫師擔任
……良品廉價
御客樣……商品豐富
……親切丁寧
……即時調整
本位……示度正確
近視　老視　亂視　斜視　遠視
電話三三九
眼鏡部　サイ下用利用御勞眼檢料無
常盤屋時計店　平町一丁目

新築落成
耳、鼻、咽喉科
氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番）
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達請負其他
佐藤材木店
常磐線平町新川町
電話三三五番

特賣!!
たひら正宗
福島縣清酒品評會一等賞受領
花春
同優等賞受領
醬油釀造元
鹽屋
山崎合名會社
電話一〇番

婦人病には美神丸を
とんな徵候の人は
一時も早く治療すべし
●血帶下赤帶下コシケ多き人
●下腹痛く節張り又はつる人
●子宮冷込、腰脚の冷ゆ又は痺れる人
●月經不順月經時に腹の痛む人
●神經衰弱ヒステリーの人
●月經時の前後に白粘つたこしけが下る人
●子宮痲毒尿意頻の人
●子宮痒く糜爛出血する人
●局部惡臭かゆき人
●逆上、頭痛、耳鳴、眩暈する人
●肩が凝又は背が痛む人
●流產、早生する人
美神丸の主治効能
白帶下　子宮內膜炎　子宮痲病（消渴）子宮出血
子宮痙攣　子宮糜爛　月經不順　陰門惡臭　子宮下ゝ及ゆがみ　肉腫痲毒に起因する不姙症等
不感症（愉よさを知らぬ病）
一日藥價僅か五錢の
自宅療法
救世の婦人藥
美神丸は（安價、簡便、卓効、秘密の四つ揃つた理想藥です）
定價表　一週分　四〇　二週分　八〇　五週分　一、八〇　十週分　三、五〇
平町五丁目角
地方代理店　山野邊藥局
一町一村に一特約店を募集す
速刻希望者は申込あれ

暖爐界之征服者
ネンシヨウストーブ
經濟的連續完全燃燒
消費節約
火防衛生
優美堅牢
簡便を欲せらるゝ御方は是非御試し下さい
御請求次第カタログ進呈
釜屋商店
電話九一三九番

今度こそ認可される 平の水道起債

内務省も腹を決めて 年度内に實現

平町が躍起となつて認可促進運動中の上水道擴張工事費二十萬圓の起債は偶々現内務省の地方財政の緊縮方針に觸れて殊に一部町議の連中が反對運動をなす等の爲め遷延されてゐたが縣では平町の將來の事情並に財政的狀態に鑑み既に昨年工事施行認可の稟伺を提出してゐる事情もあり緊急止むを得ないものと認めるので同問題につき内務省と最後の打合をなすため山内縣地方課長は十三日夜上京したが内務省さへ諒解すれば縣は大体許可する事に腹を決したものの如くである

發電所の 水路決潰

小川郷の騒ぎ

東部電力會社石城郡小川發電所水路が十一日朝突然破壞し物凄勢ひで附近の田畑に浸水し始めたので大騒ぎとなり、直に人夫多數に動員を決した

子が可愛さ故に 女房の說諭願ひ

十年前に別れた酌婦 内郷村の坑夫が

石城郡内郷村大字宮路城炭田里村各務吉之介(三八)は十年前に同棲してゐた妻福田磯長屋居住岐阜縣加茂郡久

し應急手當修理を加へ大事を免れた目下復舊作業中だ

水道課長は 當分欠員

平町では當面の問題である上水道擴張工事を前にして香野水道課長に逝かれたので何と言つても大きい打撃である同町では工事及起債認可が實現されずこのまゝ四年度を越すに於ては町會の議決効力保持上の手續きを要するのみならず急速なる認可を見込み得ない模樣なので極力四年度中に認可のもべく努めて居る一方認可あり次あらしめるこに方となり、直に人夫多數に動員を決した

景氣變動論（禁轉載）（四）

經濟學士 金成增彦

次の如く言ふ「多分消費財産等に於ても不況時代の末期には縮少が行はれるであろう。然し不況時代の大部分の間は多數消費財産等は寧ろ生産量を增加する。不況時代に生産財産等が著しく減少する事は前述の通り明白である。然し消費財産業は不況時代に果して增加するか——增加するとせばそれ就業人員の增加を意味するか。即ち生産財産業が縮少する爲に勞働者が消費財産業へ流れるか？然しこの事實は必ずしも肯定出來ない。不況時代に消費財生産の增加——し僅少なる增加あるとしてもそれは就業人員の增加ではなくて寧ろ好況時代に設備された新機械又は增設に依りて自然に增加するものであろう、要するに消費財産業に於ても生産財産業に於けると同樣不況時代には就業人員に減少すると言へる得よう——程度の差異はあるとしても。

九、景氣變動は時間的にも又深刻の程度上に於ても各種産業の間に密接なる關係があり、それ等各種産業の變動が統括されて景氣變動の大勢を形成する事は既に述べた處に依りて明白である。然しこゝに言ふ各種産業の間に密接なる關係あると言ふのは各種産業に於て向好況又は向不況の轉廻期が全く同一であると言ふ意味ではない、若し少しく精細に研究するならば各種産業に於て轉廻期が異なるのを發見する、概して言へば生産財産業に於ける轉廻期は消費財のそれに比して數箇月先立つのである、即ち好況にしても不況にしても先ず生産財産業にその前兆が現はれ而して故に消費財産業に及ぶ。この點に關しサーロ・ウエリアム・ペレッヂ氏曰く「一八六八年、一八九三、四年を向不況時に於ても亦一八七二年及一八九〇年の向好況時に於ても大英國の機械工業造船業、及金屬工業に於ける就業率は他の産業に比してその增減が少し先立つた。又エム・アフタリオン氏曰く「一八五八年、一八七四年、一九〇一年、一九〇八年の不況の際金屬の價格は殆んど總て第一年に低落し始めたが織維製品その他のものは第一年には低落しなかつたミチャエル教授は米國に於ける毎月の物價指數を研究して次の如く發表した『生産財は一九〇七年の不況の際他の物價より早く下落し始め恐慌の起る少し前に最下點に達した、而も物價低落の程度は他の物價よりも甚しかつた』勿論物品には季節的影響を受けるものあるから一概に言ふ事は出來ないが兎して言へば生産財産業は消費財産業に比して景氣不景氣の影響を受ける事が甚大にして且つ時間的に少し早く影響が及ぶと言ふ事が出來ると思ふ。（終り）

きみ(三)との間に長男益久を設けたが都合上離縁したるもその後益久も十三歳となり母や慕ふ事切なるよりきみの捜査をした處久慈郡小里村料理店福喜屋方に前借四百圓で酌婦をしてゐる事が判明したので復縁は何うでも一度歸省して子と親子の對面して呉れと頼んだに旅費を送金すれば逢つてやるとの返答に貧しい日傭稼ぎの中から十三圓の金を造り送金したるに薄情なるきみは十三圓の金は使つて了つたから前借金を拂つて呉れると行くと言ふ鬼の樣な仕打ちに憤り嚴重說諭をして呉れと十三日茨城縣太田署に願ひ出た

正月の賭博

材木町から檢舉

平町材木町大工小菅倉吉方に阿に去て去る舊正月六日頃向町長橋町相川熊造(五五)工藤竹造外二三名が連座として花合賭博開帳した事昨十三日平署員に探知され多くの都會の人に思はれてゐるかもしれませんが、それは田舎の景色ばかりです田園は樂園なり、無言の哲人、大自然よと讃へられてゐる風景も、現在の一般農民の頭には、そう感じて喜

父親を救ふべく 若い娘の盜み

喰ふに困る所から 平署に檢擧に

石城郡内郷村高坂字御殿無職吉松長女黑澤フミ(二二)は去る昭和三年頃から父親吉松が失職し家計の困難を見るに忍びず悪い事と知りながら各地を荒し廻はり盜みを働へては父親を扶養して居たこと平署に探知され取調を受けてゐるが左の如き罪狀を自白した

昭和三年五月十五日同村高坂社宅山崎覺一方物干からニコ〜一枚時價三圓五十錢五年一月十五日同村御殿佐藤義竹方八疊間から銘仙其の他價格二十四五圓同月十九日搗併一貫五百匁、白米三升五合其の他價格九圓五十錢三月八日同村遠藤鐵造方から冠斯織一枚女帶一枚價格十圓

錦村養鶏組合

石城郡錦村養鶏組合は百三戸を有し採卵專門にて前途頗る有望視され優良鶏の繁殖、飼料の共同購入、鶏卵の共同出荷等も難事じあり、東京市に於ても地方販賣よりも價格よりも一ヶ月石油箱廿個平均に販賣せらるゝ等郡補助申請すると

平町中心に 將校演習

廿四日に行ふ

仙臺第二師團司令部では來る二十四日平町を中心として將校演習を行ふが參加する將校は旅團長以下約二十五名で去る十日之が下見分の爲め二等主計松澤定一氏が來平したと

三ヶ年の繼續で 濱通り災害復舊

百萬の國庫補助で 四月から起工

石城、双葉、相馬の濱三郡が之に對し半額の國庫補助地方を昨秋襲ふた暴風雨による耕地大災害の復舊工事として五年度から三箇年繼續事業上り豫て問題になつて居た

商人を援ける途 先づ農村を救ひ

この頃、農村問題が新聞紙上に度々かゝげられてゐるのを見うけます、やつとこの頃農民のことを問題にして貰ふことが出來だしました。田舎と聞けば、いかにも平和な、落ちついた生活をしてゐるやうに、未だまだ、不時の災厄に備へる餘剩金は全く浮いて來ませんが、それどころか、働いても働いても足らないで年々借金が增してゆくばかりのうちが澤山あります、酷暑

年々の汗と血の結晶である收穫物は、取入れられるとまもなく稅金に、生活費に借金の返濟にも變つてしまう。

彼等の体格の次第〜に退下してゐることは、爭はれない事實であります、文明が機械を生み白米食に變じて某氏の言のやうに農民ならば、政府は、國法としてゞもこれを奬勵したならばいかゞでせう飯野生

公園を貸します

花見時の松ケ岡に 平町役場で規定

平町役場ではそろ〜花見時となつたので例によつて準備を急いでゐるが松ケ岡公園臨時賣店敷地申込規則を發表したが申込期日は今月二十日で詳細は次の如くである

一、貸地左の通り

壹等地　五個　常盤附近

貳等地　一個　池の端

參等地　二個　第一臺上

一、借地人資格

一、本町に於て現在飲食物又は食料品の營業をなす者

二、町指定の通り賣店の設備をなし得るもの

三、町指定の價格を以て物品の販賣をなし得るもの

四、町指定の料金を前納し得るもの

一、希望者八名以上の場合は抽籤を以て定む

一、抽籤は三月二十五日正午當廳に於て執行

植田自動車

支部總會事項

自動車協會植田支部總會は去る十二日午後二時植田警察署内に開催し左記指示事項及び注意事項あり終つて八百名の患者がある始末であるが殊に四倉町が蔓延を極め現在小學校兒童の七分方羅病者で休校し居り殆んど休校の有樣である

議をなした

一、臨時連絡に關する件

二、自動車事故防止に關する件

三、運行上注意の件

四、乘車積載制限に關する件

五、車体の手入に關する件

六、從業員の身上異動に關する件

七、基本金及維持費納付に關する件

四倉校生は 殆ど休む

平地方の流感

石城郡各町村に於て目下流行性感冒が猛烈を極め、平町でも役場員が調査せる所

上直に國庫補助申請をなし日の定例縣參事會に五年度追加豫算として提案可決の事になつた

石城郡下の春蚕 掃立は一割增

合計一萬八千枚

石城郡内農家の懷中に至大の關係ある養蠶は横濱表の糸價慘落によつてゐるへ變態にはさすがの技術者も驚いてゐる

萬六千餘枚に比し一割以上の增加を見る樣でこの

四倉水産校

十七日に卒業生

四倉町立水産補習學校第三回卒業生は來る三月十七日午前九時より同校に於て學

自家用醬油

郡下で講習會

石城郡農會では來る十五日から郡内各地で自家用醬油釀造講習會を開催するが講師は本縣釀造界の大家東白河郡上山村石井文男氏であると尚講習の日割は次の如くである

▲入遠野三月十五日、十八日山田村十九日、二十三日錦村二十日、二十六日勿來町二十七日三十日

石城町村長 總會

廿二日に開催

石城町村長支會では來る二十二日午前十時から平町各種團体事務所樓上に於て定期總會を開催すると

磐城新塔

石城郡下小川村大字上平貞言宗安發寺に安置しある同村の舊家在郷軍人分會長村會議員吉田榮男氏方所有といはれてゐる阿彌陀如來像に朧な略記により仁平二年今より約八百年前の作と傳へられ磐城一圓に尊崇され斯道諸家の鑑定によつて金色の塗料木質面形彫刻の組密などの點且は眼球白毫の寶石などより見て國寶　價値あるものとされてゐるので近く尚專門家の鑑定を受け國寶編入の申請をなす事となり目下吉田氏を中心に準備を進めてゐる

平町人事

△結婚

平町字二丁目小倉德十氏(三八)妻長野縣上伊那郡伊那町戸主哲氏柿松崎やへ(三三)

◇

平町鎌田町秋次郎氏長男金子穎由(三三)妻紺屋町袋康氏妹小川ムメ

△出生

仲間町中野幸三氏長男尚一

▲死亡

掻槌小路安治氏母山崎キサ(女四六)

仲間町幸三氏妻中野はる女(三二)

カバンと帽子
入學進級には
ゼヒ「ツルヤ」へ
新しい丈夫な品が
得られます
平町四丁目
ツルヤ
電一四〇

第三十一回 生徒募集
△募集人員　八十名
△修業年限　兩科を通じて一ヶ年
△入學資格　（高等小學校卒業若しくは之と同等の學力あるもの）（無試驗入學を許す）
△願書提出期間は四月八日迄
△寄宿は自炊の便あり
平町一丁目
石城産科婦看護婦學校
校長　鷹崎千代
電話（三七五番）

生徒募集
一、本科生　一百人
一、普通科　第一學年　百五十人
一、普通科　第二學年　若干人
一、願書提出期限　四月六日
右募集す
磐城佑賢學舍
電話七一〇番

内臓外科
整形外科
醫學博士 藤本順
産婦人科院長 木村寅次郎
平町新川町
電話一六四番
木村病院

サロンのバーには
何時も生ビールがあります
毎日變つた佛蘭西料理の御献立をして御座います
ドーゾ御試食を……
田町松月堂隣り
美味で評判の きもちよい サロン
電話 三五二番
男、女給仕人數名募集